

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(有限会社わが家)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			性別、年齢、障がい、国籍、出身等は評価の判断基準ではなく、意欲と能力を重視し、相談体制等を整えて日頃より教育をしている また幅広い年齢層を雇用し、外国人技能実習制度も導入している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			定期的かつ必要に応じた都度の個人面談等で、悩みを打ち明ける場を設け対応している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			全員でチームワークをとり、特定の人に負担が偏らないように、かつ個々の家庭、健康状態に応じた柔軟な勤務時間の希望を受け入れている								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			外国人技能実習生の快適な暮らし、学習の場を整備している				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			介助中の事故等が発生しないように、衛生的な労働環境の保持のために、投資をして建物、設備は新しく安全性の高いものを採用している また予防の消毒等を徹底している。定期的な移乗研修で、介護スタッフの身体を守る体制を整えている			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			定期的な面談を全職員を対象に行い、安心して気持ちよく仕事ができるように取り組みを整備している			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			定年制度を設けず、アクティブシニア世代が活躍し、一人ひとりが役割とやりがいを持てるように多様な人材が活躍できる環境を整えている					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			介護・飲食の枠を超え会社全体の研修を行い、相互理解を深め、職務、経験に応じたキャリアアップ研修を導入している				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			全社員がキャリアパス表に基づき、それぞれのライフスタイルに合わせた雇用を行い、開かれた公平な賃金体制を行っている					5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			積極的に健康診断、予防接種を推進し、会社が負担することでスタッフの健康維持を図っている			3					8									
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			ゴミの分別を徹底し、台所から出る生ごみを処理機にて有機肥料として活用している また、産業廃棄物はマニフェストに沿って適切に処分している											11.6	12		14.1			
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			太陽光発電システムを導入し、自社エネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している							7.3					13					
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本		【予定】	令和7年12月までに温室効果ガスの排出量管理を把握する 現在はグリーンカーテンを作り、冷房効率を上げている							7.2 7.3				12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			有害化学物質は理解している中で、地元の無農薬野菜を取り入れて添加物の無い食事を提供している		3.9				6.3					11.6	12.4					

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			各事業所にPC・タブレット端末を設置し、介護記録を入力し保管する事でペーパーレス化を推進している						6.6									15		
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			不要な衣類等をウエスとして使用し、トイレトペーパーなどの紙資源利用の削減をしている												13		14.1			
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレン ジ			個浴の導入で、水使用量抑制を図っている						6.4 6.6											
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレン ジ			再生可能エネルギー(太陽光)を導入し、自社エネルギーとして活用している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレン ジ			再生可能エネルギー(太陽光)を推進し、エコカーを1台導入している。													12.6				
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレン ジ			再生可能エネルギーの促進を目的とし、太陽光パネルを設置し、グリーン電力の使用を実施している						7.2							13				
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレン ジ			間伐材を活用した薪ストーブを本社へ導入し、カーボンニュートラルで温室効果ガス削減に努める												12.2	13	14	15		
公 正 な 事 業 慣 行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			就業規則を整備し、社内で徹底している																16 16.5	
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			利用者の選択が適切に行われ得る環境が整っている																16	
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	【非該当】		係わる業種ではない								8.2 8.3	9								
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			就業規則に則り、社員に公表して周知している 情報は施錠できる保管設備を設置している																16	
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレン ジ	【非該当】		当村及び近隣市町村で展開する介護飲食事業所であり、紛争鉱物に関わる業種ではないと把握している																16	
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレン ジ			取引先と、利用者の人権の尊重(個人情報守秘等)を共有し徹底する また、居宅介護支援事業所や相談支援事業所等の他事業所多職種と連携をし、非常時にすぐに対応出来る経営体制を整備し実施している					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	令和7年12月までに「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表をする			3						8	9	10						

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定